

盛岡市監査委員告示第 30 号

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 1 項、第 2 項及び第 4 項の規定に基づき行った定期監査の結果の報告を次のとおり公表する。

平成 29 年 7 月 5 日

盛岡市監査委員	工 藤 由 春
同	菊 池 秀 一
同	小 山 田 正 美
同	八 木 橋 美 紀

第 1 監査の対象及び監査実施年月日

定期監査の対象は上下水道局及び市立病院事務局である。うち、すべての部課等を実地監査の対象として監査を実施した。

実 地 監 査 対 象 部 課 等	監 査 実 施 年 月 日
【上下水道局】 総務課，経営企画課，給排水課，浄水課	平成 29 年 5 月 12 日から同年 5 月 17 日まで
水道建設課，水道維持課，下水道整備課	平成 29 年 5 月 22 日から同年 5 月 24 日まで
下水道施設管理課	平成 29 年 5 月 31 日から同年 6 月 1 日まで
玉山事務所	平成 29 年 6 月 2 日
【市立病院事務局】 総務課，医事課	平成 29 年 6 月 6 日から同年 6 月 12 日まで

第 2 監査の範囲

平成 28 年度の事務の執行及び経営に関する事業の管理に関すること。

第 3 監査の方法

平成 29 年度監査実施計画及び監査資料等に関する要領（48 盛監発第 24 号）に基づき提出された監査資料と監査実施の指定日に提出された各課等の予算の執行に係る各種文書，会計帳票，証拠書類，現金の出納保管並びに財産，債権及び基金の記録管理その他

の事務に係る文書について、事務の執行及び経営に関する事業の管理が法令等に基づき、適正かつ効率的に行われているかに主眼を置き、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠し、通常実施すべき監査手続きによりその内容を調査照合するとともに、必要に応じ、その都度担当職員から説明を聴取して適否の確認を行った。

第4 監査の結果

事務の執行は、関係法令及び条例・規則並びに議会の議決その他の定めるところに基づきおおむね良好と認められたが、各課等の一部の事務処理について、別紙に掲げる事項が見られたので適切に措置されたい。

なお、監査の執行過程において、各課等の担当職員等に対し、その旨指示したところであるが、所管する業務に対する認識を深められ、事務事業の適正かつ効率的な執行が確保されるよう配慮されたい。

別 紙

I 上下水道局

総務課

【注意事項】

- 1 行政財産の使用許可に当たり、不備のある使用許可申請書を受理している事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。

水道建設課

【指摘事項】

- 1 業務委託契約に係る身分証明書発給事務に当たり、返納の確認がなされていない事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。

浄水課

【指摘事項】

- 1 指名競争入札に当たり、無効とすべき入札書を有効として取り扱っている事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。

【注意事項】

- 1 業務委託契約の締結に当たり、誤った金額の収入印紙が貼付されている事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。
- 2 行政財産の使用許可に当たり、不備のある使用許可申請書を受理している事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。

下水道整備課

【指摘事項】

- 1 下水道事業受益者負担金の過誤納金の返還に当たり、算定方法を誤っている事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。
- 2 業務委託契約に係る身分証明書発給事務に当たり、返納の確認がなされていない事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。

下水道施設管理課

【注意事項】

- 1 修繕請負契約の締結に当たり、誤った金額の収入印紙が貼付されている事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。
- 2 業務委託契約の締結に当たり、履行遅滞の場合の損害金を算定する割合の約定に誤りのある事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。

- 3 行政財産の使用許可に当たり、不備のある使用許可申請書を受理している事例及び不備のある使用許可書を交付している事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。

II 市立病院事務局

総務課

【指摘事項】

- 1 資産減耗費の予算執行に当たり、決裁権者の決裁を得ていない事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。

【注意事項】

- 1 業務委託契約の完了確認に当たり、不備のある実績報告書を受理している事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。
- 2 修繕請負契約の締結に当たり、誤った金額の収入印紙が貼付されている事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。

医事課

【指摘事項】

- 1 物品の購入に当たり、次の事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。
 - (1) 決裁権者の決裁を得ていないもの
 - (2) 無効とすべき見積書を提出した業者を契約の相手方に決定しているもの
- 2 指名競争入札に当たり、無効とすべき入札書を有効として取り扱っている事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。
- 3 業務委託契約の完了確認に当たり、完了検査が行われていない事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。
- 4 実地たな卸に当たり、管理者の指定する職員を立ち合わせていない事例が見られたので、適正な事務の執行を求める。